

# オンラインと対面型の併用による 水俣病の普及啓発と人材育成

活動地域  日本全域



満席の水俣セミナー（オンラインも併用）

## 課題

昨今の世界中の問題に通底する「水俣病事件」を繰り返さない、また風化させないために、その経験を海外や未来を担う若い世代をはじめとする社会一般の人々に広く伝える。

## 目標

オンラインを含めた水俣病の経験の共有を軸に、若者を中心とした水俣病の導き手を新たに育成し、さらに国内外に向けてSNS等で情報発信する。



## 今後の展望

この2年で得られたネット上での共感を、水俣展や講演会というリアルの場にもっていき、さらに1回限りではなく、継続的に水俣フォーラムの催しに参加してもらえるような仕組みもつくりあげる必要がある。

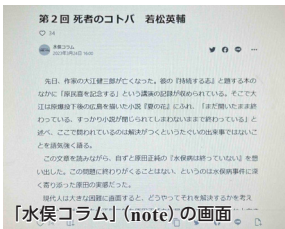
ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

## 活動内容と成果

1年目に引き続き、オンラインと対面型の併用で講演会を開催した。新型コロナウイルス禍の影響で大規模な講演会は中止せざるを得なかったが、定員60人ほどの会場で講演は5月から12月までに7回とほぼ毎月開催することができた。参加者はオンラインも含めて平均120人であり、特にオンラインでは各回多くの方にご参加いただいた。  
また、新たにネット上で「水俣コラム」の定期連載（毎月第2・4金曜日更新）を3月に開始し、これまで2回の投稿で総閲覧数642となった。  
以上のように、ネット上での拡がりを実感する1年となった。



催し参加者数  
(オンライン含む) **845人**

SNS継続受信者数 **603人**

今年度計画の達成度 **70%**

全体計画の達成度 **50%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

「水俣コラム」は団体初の連載という形の事業であり、執筆依頼から編集を経て投稿に至るまでのサイクルを把握するのが難しかった。

### ■工夫した点

よりわかりやすく、伝わりやすい文章を載せるために、編集作業には専門ボランティア3人に協力してもらっている。

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-34-12

竹内ローリエビル404

電話：03-3208-3051

E-mail：mf1997@minamata-f.com

HP：https://npo.minamata-f.com/

